

## 第6節 情報

環境をよくするための行動を、市民全体で進めていく上で、環境に関するどのような情報をどのような手段で提供するかは、非常に重要なことであるといえます。より効果的に情報を提供できるように、情報収集の手段と求める内容について尋ねました。

### 1. 情報収集の手段

「現在どのような手段で環境に関する情報を得ていますか」という問いに対して、「広報 松阪」を選んだ人が最も多く、次いで「新聞」となりました。

「今後どのような手段で情報を得ることを希望しますか」という問いでも、依然として「広報 松阪」が最も多い結果となりましたが、「松阪市ホームページ」「市職員による出前講座」などが現在の手段に比べて高い結果となりました。

今後は、さらにこれらの情報手段が横一列に近づき、突出した手段がなくなる傾向が感じとれます(図 21 参照)。

また、年齢別では、若い世代では「松阪市ホームページ」「ケーブルテレビ」を手段として利用したいと考える人が多く、年齢の高い世代では「市職員による出前講座」を利用したいなど年齢によって求める情報の手段も異なることがわかります(図 22 参照)。

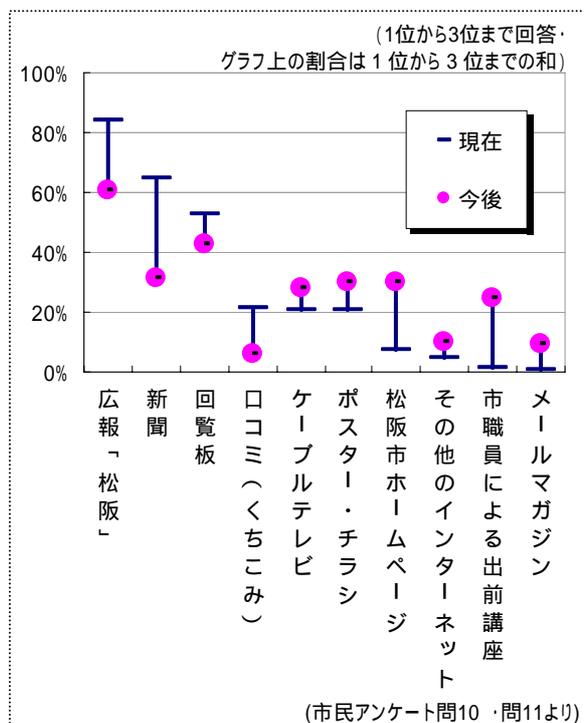


図 21 「現在どのような手段で環境に関する情報を得ていますか」と「今後どのような手段で情報を得ることを希望しますか」の比較

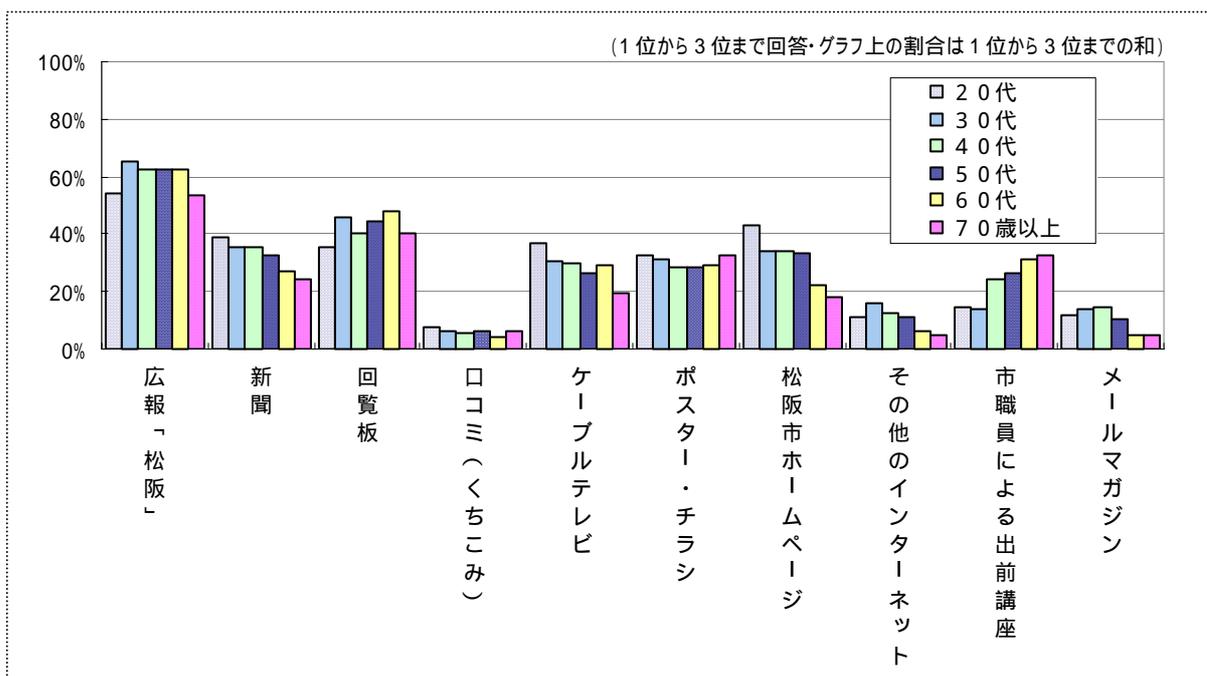


図 22 「今後どのような手段で情報を得ることを希望しますか」についての年齢別比較

## 2. 求める情報の内容

今後、市に求めたい「環境に関する情報」として、「日常生活の中でできる環境のための取り組み方法」が62.2%と最も高く、市民の半数以上が、具体的な取り組み方法を知りたいと考えていることがわかりました(図23参照)。

### まとめ

情報収集の仕方は、今まで広報や新聞など限られたものから得るのが現状であったといえます。しかし、それでは限られた人にしか情報が伝わりません。今後は、全ての市民が情報を共有できるように、様々な手段で情報を発信していく必要があるようです。

また、情報の内容も、日常生活において役立つものを求める傾向があることがわかりました。さらに、自由記入欄には、「もっと老人にもわかりやすい言葉にして欲しい」や「広報にのったかもしれないが一度見逃すと知ることができない」といった意見も寄せられました。

今後は、市民が求める情報を的確に捉え、その情報を様々な手段を使って、いかに早くそして繰り返し市民に伝えられるかが重要であると思われます。

### キーワード

入手のしやすさ  
情報の繰り返し提供

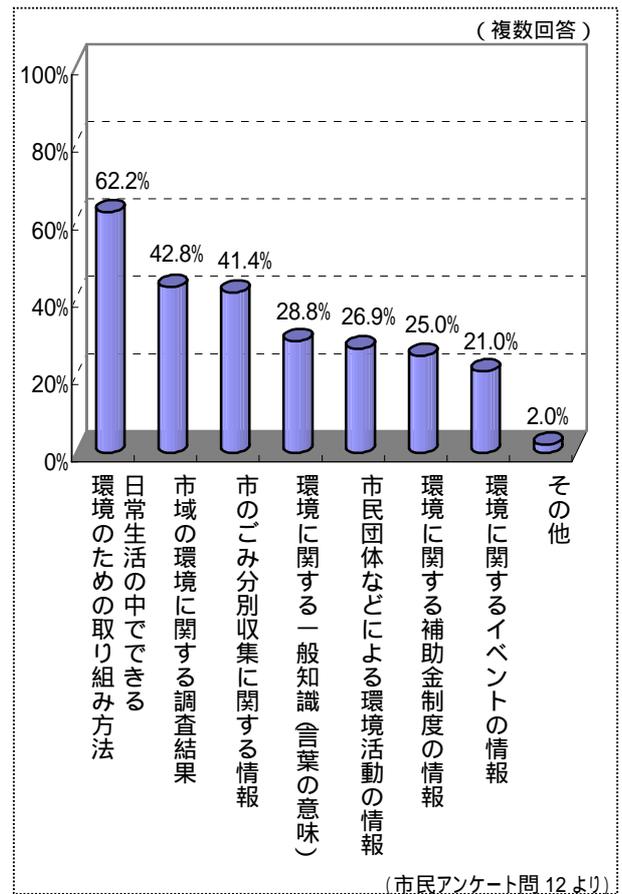


図23 今後、市に求めたい「環境に関する情報」